

読んでみよう 解いてみよう さん太のワークシート

玉野市で江戸時代から受け継がれている郷土芸能「波知の獅子舞」の存続が危ぶまれ、保存会が活動に力を入れています。記事を読み質問に答えましょう。



勇壮な舞を披露する「波知の獅子舞」(波知獅子舞保存会提供)

波知の獅子舞 伝統後世へ

玉野市八浜町波知で江戸時代中期から受け継がれている「波知の獅子舞」。人口減少で担い手が不足し、郷土芸能の存続が危ぶまれていることから、住民らでつくる保存会は活動への参加者を地域外にも「解禁」し、広く協力を呼び掛けている。(矢吹喜一朗)

玉野の保存会

波知の獅子舞は、毎年を目的に地域住民が1910月にある秋祭り、笛70年に「波知獅子舞保存会」を設立、82年には子が地区内を勇壮に練り、市無形民俗文化財に指定歩き、神社や公民館で舞された。踊りは口伝えやを奉納する。保存・継承 実際に舞を見せて継承し



参加者募集について意見を出し合う廣畑代表(右)ら保存会メンバー

担い手不足 地域外から参加「解禁」

てきた。しかし近年、少子化や若者の流出で保存会への入会者が減少。さらに、新型コロナウイルス禍で秋祭りは一昨年、昨年と同様に今年も神事のみとなり、獅子舞を披露する場が3年連続で失われた。

この状況に危機感を持った保存会は、これまで地域住民やゆかりの人に限定していた入会メンバーを地域外にも呼び掛けるチラシをつくり、保存会の公式ユーチューブチャンネルやフェイスブックに掲載するなどして周知している。

保存会の廣畑一夫代表(53)「同市八浜町波知は「獅子舞は地域の誇りで途絶えさせるわけにはいかない。市外のイベントでも披露しているので一度見てほしい。興味があれば参加して」と呼び掛ける。

募集内容は小学生が面をつけた舞、中学生以上が獅子舞や笛、太鼓演奏。性別は問わない。参加無料。問い合わせ、申し込みは保存会にメール(84401hozorkai@gmail.com)。

4日付山陽新聞、日曜ワイド

Q1 波知の獅子舞の存続が危ぶまれている原因は何でしょうか。第1、3段落を読み答えましょう。

Q3 自分が住む地域で、未来へ受け継ぎたい郷土芸能はありますか。あるという人は、その郷土芸能の魅力を書き出してみましよう。

Q2 地元住民らでつくる保存会は、どのような方法で獅子舞を存続させようとしていますか。第1段落や見出しを読み答えましょう。

過去の問題は
こちらから▶▶

◇「さん太のワークシート」は自由にダウンロードして、学校や家庭での学習に活用してください。